

情報科 「情報と問題解決」 学習指導案

日 時： 令和3年2月9日（火）5校時
 場 所： 2年C組教室
 対 象： 2年C組（情報メディア科）
 授 業 者： 教諭 富樫真雄
 教諭 月本晴子
 教 科 書： 「情報と問題解決(実教出版)」

本時の計画（本時 1 / 2時間）

（1）本時の目標（ねらい）

コロナ後の社会で必要とされる力を自分の言葉で説明できるようになる。

（2）学習過程

過程	生徒の学習活動	形態	教師の支援	評価規準（評価の方法）
導入 5分	1 教材を準備する。 2 本時の課題を受け取る。 3 本時の目標を確認する。 「コロナ後の社会で必要とされる力を自分の言葉で説明できるようになる。」 4 本時の流れを確認する。	個	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Classroom] へのアクセス、リモート対象生徒の接続を確認する。 ・ [Classroom] で本時の課題を配布する。 ・ スライドを使って本時の目標と流れを提示する。 	
展開 35分	【ジグソー活動】 1 前時のエキスパート活動の内容を【ドキュメント】から【スライド】に貼り付け、グループのメンバーで説明し合う。（3分×3） 【クロストーク活動】 2 自分が担当した内容からコロナ後の社会について予測し、【スライド】の共同編集を行う。（10分） 3 予測されたコロナ後の社会からKeywordと必要とされる力について話し合い、スライドにまとめる。（10分） 4 各班で話し合われた内容を発表する。他の班の発表に耳を傾け考えを深める。（5分）	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動が円滑に進むように司会、発表、メインの編集者を割り振る。 ・ 自分の言葉で説明をするように促す。 ・ コロナ後の社会については前時にまとめた内容を参考にするように促す。 ・ 話し合いが進まない班については適宜アドバイスを行う。 ・ リモートの発表用に電子黒板と【Meet】の調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的にジグソー活動、クロストーク活動を行っているか。【関心・意欲・態度】（観察） ・ スライドのまとめ方、発表の仕方が適切であったか。【技能】（【スライド】）
まとめ 10分	1 返却された【スプレッドシート】に「コロナ後の社会で必要とされる力」について記述する。 2 【スプレッドシート】に自己評価を記入し、再提出する。	個	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【スプレッドシート】を返却する。 ・ 【スプレッドシート】を回収する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ後の社会で必要とされる力を自分の言葉でまとめることができたか。【思考・判断・表現】（【スプレッドシート】）